

幌武意小学校校歌

作詞・作曲 横村孝二

丘にたたずみ 見渡せば
マツカ岬や 日本海
潮の香りに つつまれて
豊かな町に 生いたった
みんなの 幌武意小学校

積丹岳の 雄々しさと
この地の篤い 友情を
ひとりひとりの 胸に秘め
強い子どもに 育ち行く
みんなの 幌武意小学校

いま新しく よみがえり
町の希望も ここに見る
明日の日本を になう子が
誇りに満ちて 学び行く
みんなの 幌武意小学校



幌武意小学校

130年

閉校式

3月6日(土)に行われた幌武意小学校の閉校記念式典には、約130人が出席しました。

式典では、佐藤寛之第35代学長が「地域があるから学校が存在する。地域に支えられ地域とともに創り上げる教育活動を目指してきた。地域みなさんに感謝します。」と挨拶しました。



長内春道君(左)と長内航貴君

4月から美国小学校に統合となる幌武意・入舸両小学校で閉校式が行われ、遠方からの卒業生や地域住民、学校関係者などたくさんの方が出席し、歴史と思い出の詰まった校舎との別れを惜しましました。

町主催の式典では、松井町長の告

幌武意小学校の沿革

年号	年	月	概要
明治	12	10	旧稻荷神社を校舎に簡易教育所として開所
	35	4	幌武意尋常小学校に改称
昭和	4	10	開校50周年記念式典挙行
	16	4	幌武意国民学校に改称
	22	4	幌武意小学校に改称
	同	5	学制改革により美国町立幌武意中学校を小学校に併設
	31	9	町村合併により積丹町立幌武意小学校・中学校に改称 校章制定
	37	3	校歌制定
平成	55	9	開校100周年記念式典
	56	3	幌武意中学校閉校
	58	12	新校舎落成
	2	4	幌武意太鼓育成会結成
	22	3	閉校記念式典

幌武意小学校は明治12年に簡易教育所として開所して以来130年間で900人余の卒業生を送り出しました。一時は60人を超える児童・生徒が在籍していましたが、平成に入ってから1桁の児童数が続き、現在は、長内春道くん(4年)と長内航貴くん(2年)の2人となりました。式典の最後に2人の児童は「幌武意小学校が大好きです。幌武意小学校で学ぶことができたと誇りに思います。」とたくさんのお出立を前に堂々とお別れの言葉を述べました。また、式典に引き続き行われ



積丹町立幌武意小学校 閉校式

入舸小学校 122年

入舸小学校校歌

作詞 金 耕太郎
作曲 工藤 富次郎

新潮香る北の洋
四方の波路は豊かにて
永遠につきせぬ海の幸
睡みたたえん樂し郷

揺るがぬ憲のしるしとて
根ざしも堅く我が庭に
植えしなでしこ花咲て
希望豊にもりのりゆく

誠の訓え身にしみて
朝の夕に人の道
勤勞の技を学びつつ
きたえ築かんうまし邦



両校で

辞、細矢教育委員長の式辞、下道後志教育局長や岩本議長の来賓挨拶に続き、町から閉校式実行委員長へ、学校長から長内春樹、武意小学校PTA会長、竹谷満洋、入舸小学校PTA会長への感謝状の贈呈などが行われました。

3月13日(土)に入舸小学校で行われた閉校記念式典では、約150人が出席しました。

入舸小学校は、明治20年に日司簡易小学校分教場として開場し、今年で122年を迎えます。これまで2,400人余の卒業生を送り出し、在校生7人のうち、小原百花さん、竹谷湧志くん、竹谷四季さんの3人の6年生が最後の卒業生となります。

式典で藤井直樹第37代学

校長は、



「この入舸小学校で学んだことを忘れず、美国小学校・中学校に行っても頑張ってください。」と7人の児童を激励しました。

最後に「入舸小学校がなくなっても私たちは入舸の子です。これからも見守ってください。」と全員によるお別れの言葉に、会場からあたたかい拍手が送られました。

入舸小学校の沿革

年号	年	月	概要
明治	20	5	日司簡易小学校分教場として開場
	30	4	入舸尋常小学校に改称
	45	4	日司尋常小学校と合併
大正	7	4	入舸尋常高等小学校に改称
昭和	16	4	入舸国民学校に改称
	22	4	入舸小学校に改称
	同	5	学制改革により入舸町立入舸中学校を小学校に併設
	31	7	校舎全焼
	同	9	町村合併により積丹町立入舸小学校・中学校に改称
	32	10	新校舎落成
	59	12	新校舎落成
	60	3	入舸中学校閉校
	62	5	開校100周年
平成	19	11	開校120周年記念式典
	22	3	閉校記念式典



左から小原ほのかさん(4年)、笠井羽蘭さん(1年)、竹谷四季さん(6年)、小原百花さん(6年)、竹谷由唯さん(2年)、小原楓さん(2年)、竹谷湧志君(6年)

交通事故死ゼロ

3,500日達成

後志管内第1位、全道第5位

3月17日、積丹町内での交通事故死ゼロの記録が3,500日を達成しました。

記録達成の日、北海道知事からの感謝状と(社)北海道交通安全推進委員会からの表彰状の

伝達式が町交通安全指導員や町

議会議員など25人が出席して役

場会議室で行われ、谷本後志支

庁長から「これからの観光シー

ズンには交通量も多くなりませ

が、皆さんの尽力により交通事

故死ゼロが続くことを期待しま

す。」と激励があり、松井町長が、

「これからも地域一丸となつて

交通安全の推進に取り組みた

い。」と決

意を述べ

ました。

積丹町

は、平成

12年8月

16日から

交通事故

死ゼロが

続き、現在後志管内第1位、全道で第5位となっています。全道1位は網走管内西興部村で平成22年3月1日現在5,509日です。

商工会女性部が「交通安全愛の鈴」を寄贈

積丹町商工会女性部(葛西幸子部長、部員45人)は交通安全への願いを込め、手作りの「愛の鈴」200個と、新入学児童へ贈る「交通安全のお守り」を3月8日、葛西部長と部員2人が役場を訪れ、松井町長へ手渡しました。

かつては、全国の商工会女性部で取り組みが行われていたこの「愛の鈴」は、近年では高齢化などにより取り組む団体が減ってきていますが、同女性部は昭和53年から毎年寄贈を続けています。

葛西部長は、「部員の高齢化も

進み、新入学児童も今では自分たちの子から孫へと移ってきています。ランドセルに揺れるお守りがかわいい子どもたちの元気な姿をいつまでも見守り続けられるように、愛の鈴は女性部のトレードマークとして続けていきたい。」と力強く話されて

いました。「交通安全愛の鈴」は、毎年春と秋の交通安全運動期間の街頭啓発の際に、ドライバーに配布し安全運転を呼びかけ、「お守り」は町内の小学校の入学式にあわせて部員が訪問し、直接子どもたちの真新しいランドセルに取り付けることになっていま

す。



積丹町交通安全指導員出初式

交通安全功労者等へ表彰伝達

積丹町交通安全指導員会(川井順應会長)の出初式が2月26日、町総合文化センターで行われました。

出初式では、川井会長の式辞に続き、松井町長、一戸余市警察署長、福井町交通安全協会長などから激励と感謝の言葉がありました。最後に、川井会長から「私たち19名の町交通安全指導員は、今日からまた、心を新たにし、一丸となって地域に根ざした活動を進めます。」と力強く交通安全宣言が読み上げられ、今年1年の交通事故防止への決意を新たにしました。

また、出初式に先立ち、長年にわたり交通事故防止に貢献された交通安全功労者と優良運転者あわせて24人に対し表彰状が贈られました。

受賞された方々は次のとおりです。



◆積丹町交通安全協会会長表彰

【交通安全功労者】

菊地 英徳さん(美国町)

【優良運転者】

丹場 優樹さん(美国町)

田中 美幸さん(美国町)

石村貴美子さん(美国町)

下山 りなさん(美国町)

鳴田 政義さん(美国町)

三上 宏枝さん(日司町)

本田いく子さん(野塚町)

竹内 明光さん(美国町)

山口 幸彦さん(美国町)

柏谷トミヨさん(野塚町)

◆余市地区交通安全協会連合会会長表彰

【優良運転者】

佐藤千香子さん(野塚町)

播磨 美代さん(美国町)

三上 京子さん(美国町)

竹谷 美幸さん(入舸町)

大瀧 義友さん(野塚町)

藤田まき子さん(野塚町)

三上 俊幸さん(美国町)

白川 浩治さん(美国町)

鳴海 友幸さん(入舸町)

大坂 裕子さん(日司町)

藤木和歌子さん(美国町)

梶浦 正寛さん(美国町)

野宮真奈美さん(美国町)